



MORITA GROUP

2025年度 決算説明資料

2026年5月18日

株式会社 **モリタホールディングス**

(証券コード：6455)

2025年度 実績

- 売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新
 - 消防車両事業、産業機械事業、環境車両事業が増収となり、利益面では全セグメントで増益
- 年間配当金は、前期比6円増配の64円

中期経営計画の振り返り

- 中期経営計画「Morita Reborn 2025」は、営業利益率、DOE、営業利益（過去最高の更新）で目標を達成

2026年度 予想

- 売上高は0.9%減、営業利益は6.2%減を予想
 - 消防車両事業において一部案件の売上が翌期以降となる可能性を織り込むものの、売上高、営業利益とも過去2番目の水準

I. 会社概要

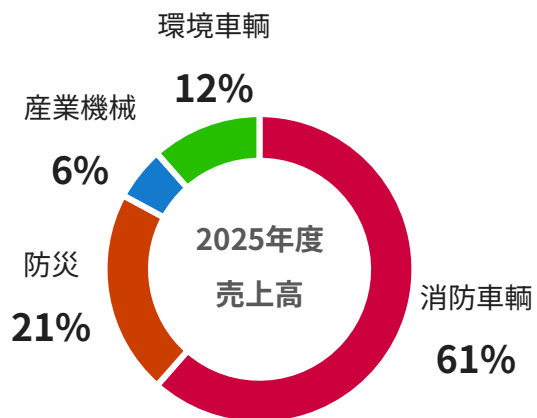
基本情報



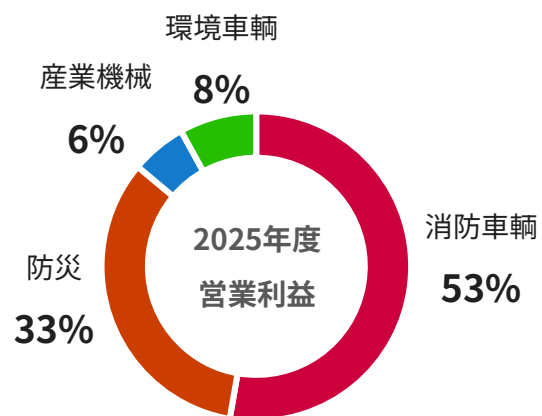
社名	株式会社モリタホールディングス
英文名称	MORITA HOLDINGS CORPORATION
創業	1907（明治40）年4月23日
設立	1932（昭和07）年7月23日
代表者	代表取締役会長兼CEO 中島 正博 代表取締役 社長執行役員 加藤 雅義
資本金	47億4,612万円
連結売上高	1,166億円（2026年3月期）
連結従業員数	1,786名（2026年3月期）
連結子会社	13社
持分法適用会社	2社
その他グループ会社	5社

事業概要

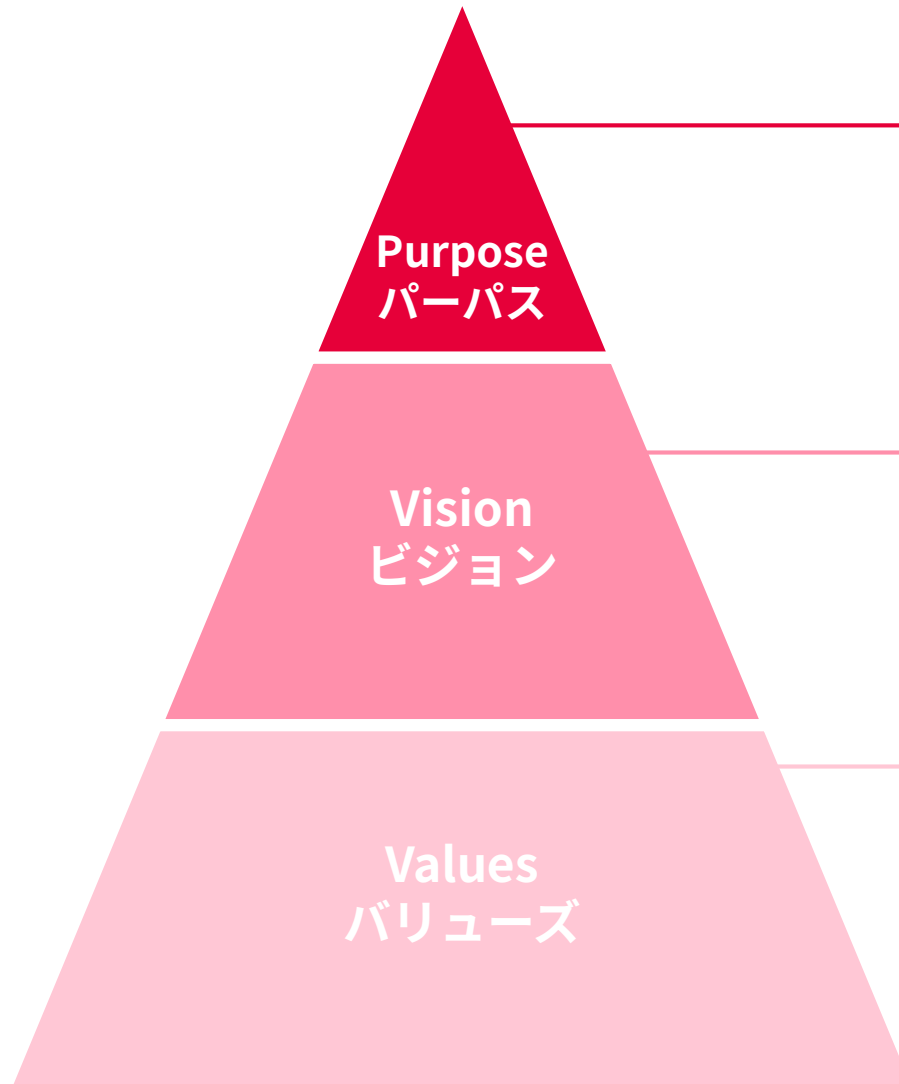
売上高



営業利益



事業	グループ会社	営業品目
消防車両	モリタ モリタテクノス Bronto Skylift	消防車両 消防車両メンテナンス 
防災	モリタ宮田工業	消火器 消火設備 
産業機械	モリタ環境テック	産業廃棄物処理機 リサイクルプラント 各種ごみ処理施設 
環境車両	モリタエコノス	衛生車 塵芥車 環境保全車両 



パーパス (社会における存在理由)

「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る

ビジョン (実現したい社会とありたい姿)

安全で住みよい豊かな社会へ貢献し
感謝され、愛される企業

バリューズ (大切にすべき価値観)

- お客様と社会からの信頼
- 真摯な企業経営
- 挑戦と成長
- 飽くなき革新力
- 多様性の尊重
- 自然、社会との共生

マテリアリティ（重要課題）

サステナビリティへの取り組みの推進と中長期的な企業価値向上に向け、従前のマテリアリティを発展的に見直しました。事業価値と環境・社会価値の両立を、より高いレベルで目指します。

マテリアリティ (重要課題)	目指す姿・方向性	KGI (目標達成指標)	企業価値への寄与
1 環境価値を創る 	気候変動をはじめとする環境課題の解決に貢献し、人と地球のいのちを守る	GHG排出量削減率 環境配慮型製品のラインアップ拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● コスト削減と炭素税リスクの低減 ● 規制や顧客要請への対応力強化 ● 技術開発力の強化 ● 製品付加価値の向上と差別化
2 人を育み活かす 	すべての従業員が希望をもって成長し、持てる力を発揮できる環境をつくる	従業員エンゲージメントスコア 人的資本ROI	<ul style="list-style-type: none"> ● 創造性および生産性の向上 ● 離職率の低下と採用競争力の強化 ● 人的投資による付加価値の向上 ● 競争優位性の強化
3 ガバナンスを深める 	コンプライアンスと人権尊重を含むコーポレートガバナンスの実効性を継続的に高める	コンプライアンス／法令遵守の徹底 自社およびサプライチェーンの人権尊重 取締役会の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業価値毀損リスクの低減 ● 顧客・取引先からの信頼感向上 ● 従業員の心理的安全性の確保 ● サプライチェーンリスクの低減 ● 意思決定の質の向上 ● 資本効率を重視した経営の推進



MORITA GROUP

II. 2025年度 決算概要

損益計算書

(億円)

	2024 実績	2025 予想	2025 実績	前期比	予想比
売上高	1,117	1,150	1,166	+49	+16
消防車輛	664	710	717	+53	+7
防災	266	245	250	-17	+5
産業機械	64	65	65	+1	-0
環境車輛	123	130	135	+11	+5
営業利益	137	138	155	+17	+17
消防車輛	68	82	82	+13	-0
防災	50	38	51	+1	+14
産業機械	9	8	9	+0	+1
環境車輛	10	11	13	+2	+2
経常利益	137	143	150	+13	+7
当期純利益	95	95	95	-0	-0

前期比コメント

- ✓ 売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新
- ✓ 消防車輛事業は、海外で一部案件の期ずれがあったものの、国内ではシャシの供給が順調に推移し、生産も計画通り進捗したことにより、増収増益
- ✓ 防災事業は、前期にあった消火設備の大型案件の売上が減少した影響により減収となるも、案件の採算性や価格改定も寄与し、増益
- ✓ 産業機械事業は、製品及び部品メンテナンスの売上が堅調に推移し、増収増益
- ✓ 環境車輛事業は、高水準の期首受注残高を順調に売上に結びつけ、増収増益

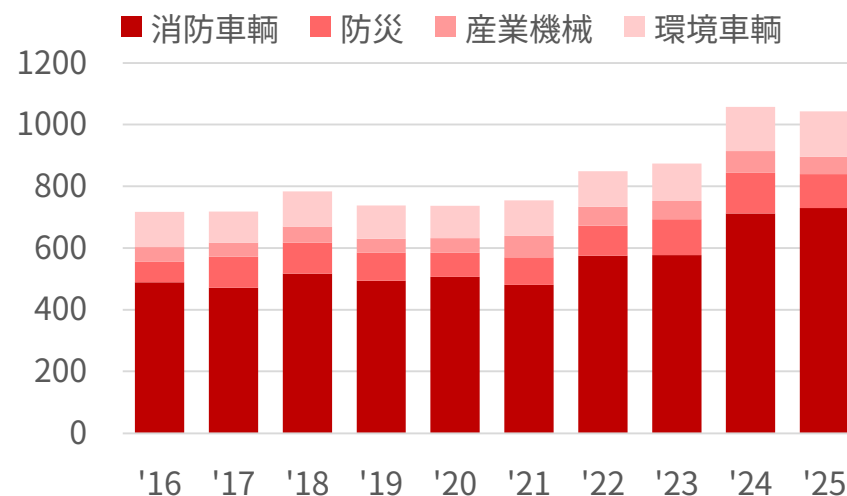
受注状況

(億円)

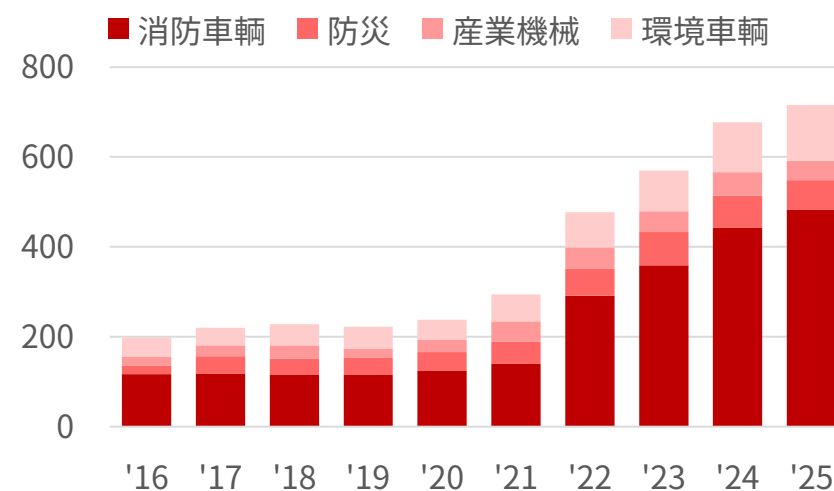
受注高	2023 実績	2024 実績	2025 実績	前期比
消防車輛	577	712	730	+19
防災	116	132	109	-22
産業機械	59	70	57	-13
環境車輛	122	143	147	+5
連結	874	1,056	1,044	-12

受注残高	2023 実績	2024 実績	2025 実績	前期比
消防車輛	359	442	482	+40
防災	74	72	66	-5
産業機械	46	52	44	-8
環境車輛	91	111	124	+13
連結	570	677	716	+39

受注高



受注残高



貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書



連結貸借対照表

(億円)

	2024 実績	2025 実績	前期比
現預金	299	265	-33
売上債権	315	332	+18
棚卸資産	246	291	+45
有形固定資産	349	344	-4
無形固定資産	18	12	-6
その他	207	215	+8
資産合計	1,434	1,460	+27
仕入債務	205	167	-38
その他	251	268	+17
負債合計	457	435	-21
自己資本	965	1,012	+47
非支配株主持分	12	13	+1
純資産合計	977	1,025	+48
負債純資産合計	1,434	1,460	+27
ROE	10.1%	9.6%	

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2024 実績	2025 実績	前期比
営業CF	114	48	-66
投資CF	-15	-14	+1
財務CF	-60	-68	-8
フリーCF	99	34	-65

III. Morita Reborn 2025の振り返り

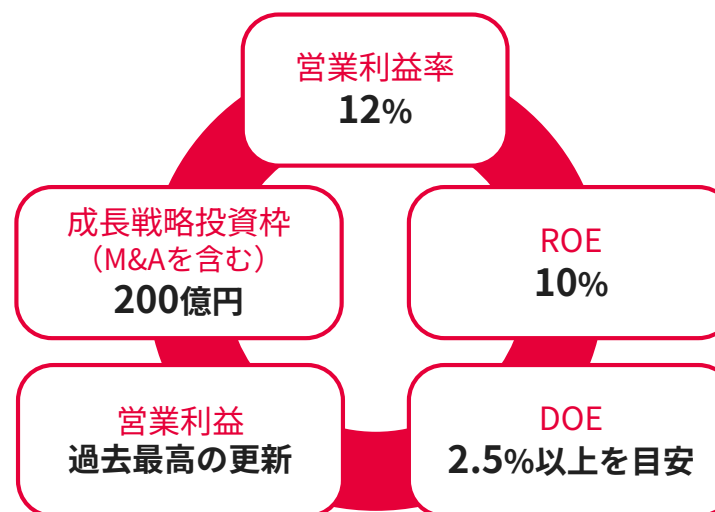
(2019～2025年度)

グローバルな総合防災ソリューション企業へ

基本方針

- ① 既存事業の収益力強化
- ② 海外事業・新規事業の育成、拡大
- ③ 基礎研究力・新商品開発力の強化
- ④ 革新力を持った人財の育成
- ⑤ CSR活動の推進

経営数値目標（2025年度）



Morita Reborn 2025 (2019~2025)

基本方針と成果

基本方針	成果
① 既存事業の収益力強化	過去最高業績の更新 <ul style="list-style-type: none">● 全セグメントで売上高・営業利益ともに過去最高を更新
② 海外事業・新規事業の育成、拡大	海外事業・新規事業の成長 <ul style="list-style-type: none">● 海外子会社の成長● 海外規格に適合したはしご車の開発、販売● 大型消火設備案件に対応できる体制の強化
③ 基礎研究力・商品開発力の強化	新商品開発の進展 <ul style="list-style-type: none">● 研究開発拠点の設立● 大阪・関西万博における指揮支援システムの実証実験● 消防車・塵芥車の電動化
④ 革新力を持った人財の育成	人財育成と組織面の強化 <ul style="list-style-type: none">● 階層別研修・中核人財育成プログラムの実施● 女性やキャリア人財など、多様な人財の採用を推進● 新事業開発の専任部署を新設
⑤ CSR活動の推進	サステナビリティ経営への発展 <ul style="list-style-type: none">● モリタ フィロソフィーを制定● サステナビリティ委員会を発足● マテリアリティを特定し、グループ横断の取り組みを推進

課題

● 経営資源の戦略的配分

● 人財への継続的投資

● 成長戦略の着実な実行

今後の成長を支える取り組みの進展

海外展開を加速する商品開発



海外規格に適合したはしご付消防自動車をBronto Skyliftと共同開発

✓ 進展ポイント

グループ内シナジーを活かした商品開発により、グローバルでの競争力を強化

ソリューション領域への展開推進



大阪・関西万博にて、AIを活用した「現場指揮支援システム」の実証実験を実施

✓ 進展ポイント

ハードにとどまらない、ソリューション領域への展開を推進

イノベーションを生む基盤構築



燃焼実験を行う日本最大級の総合実験場等を備えた研究開発拠点を開設

✓ 進展ポイント

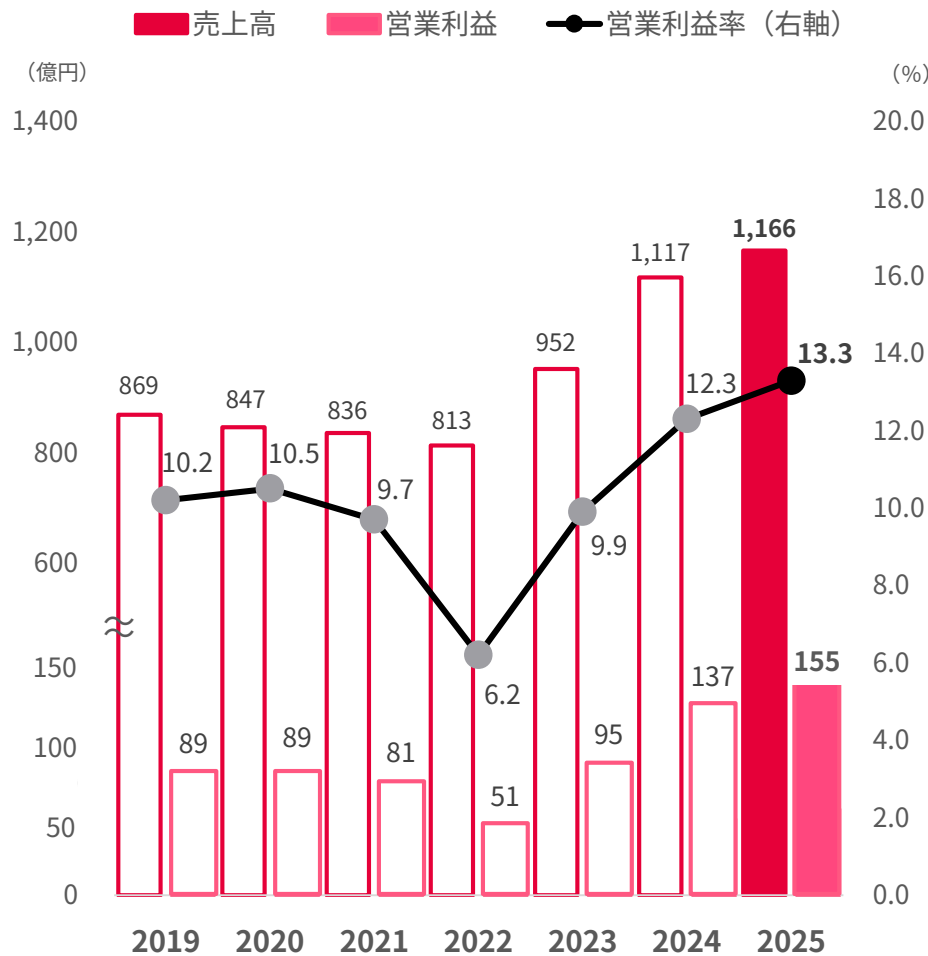
研究開発拠点の集約と産官学連携やオープンイノベーションを推進

Morita Reborn 2025 — 経営数値目標 (レビュー)



MORITA GROUP

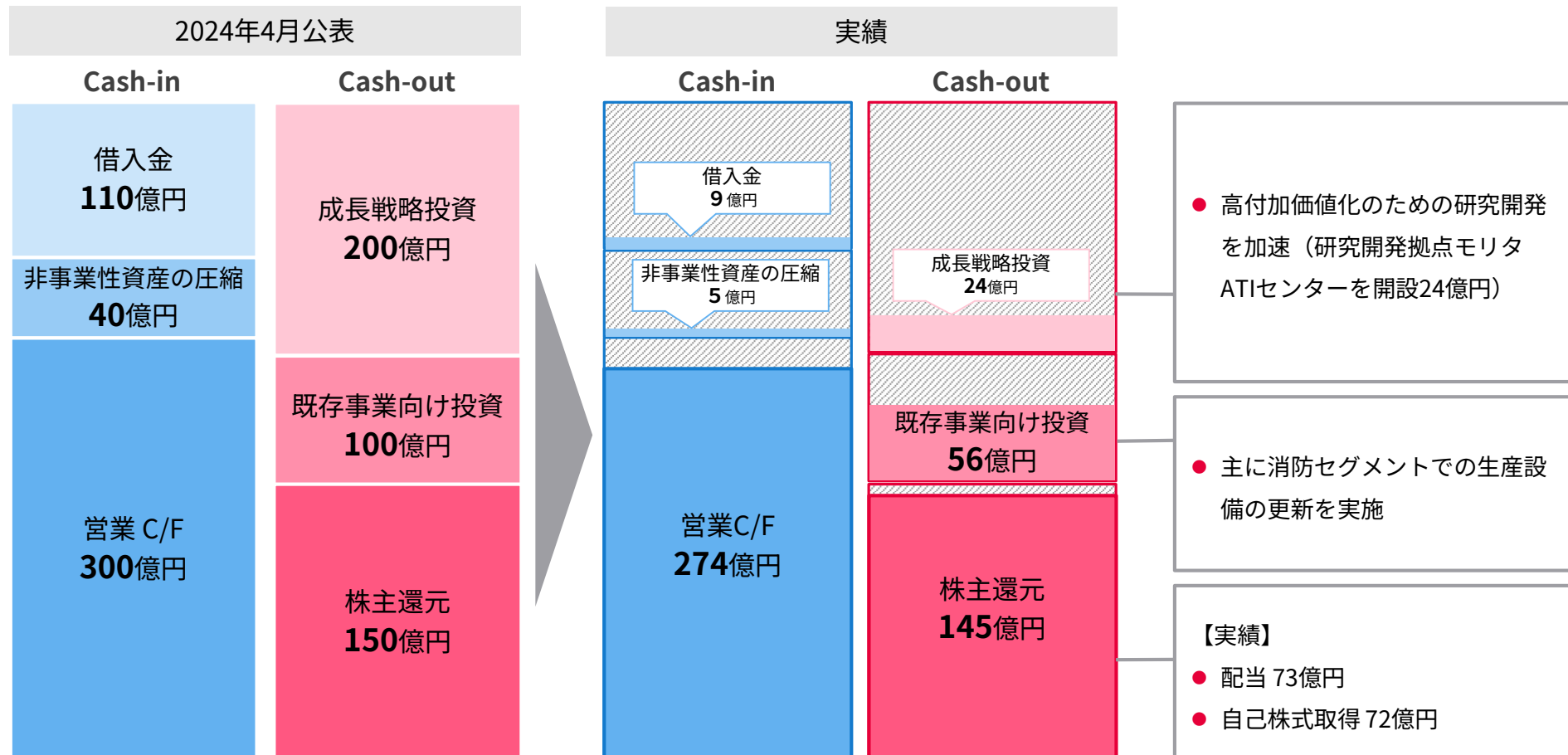
連結業績



経営数値目標	Morita Reborn 2025 目標値	2025年度実績
営業利益率	12%	13.3%
ROE	10%	9.6%
DOE	2.5% 以上を目安	3.0%
営業利益	過去最高の更新	155億円 (過去最高)
成長戦略投資枠 (M&A含む)	200億円	累計50億円

キャッシュアロケーション — (レビュー)

2023年度-2025年度 実績





MORITA GROUP

IV. 2026年度 見通し

業績予想

(億円)

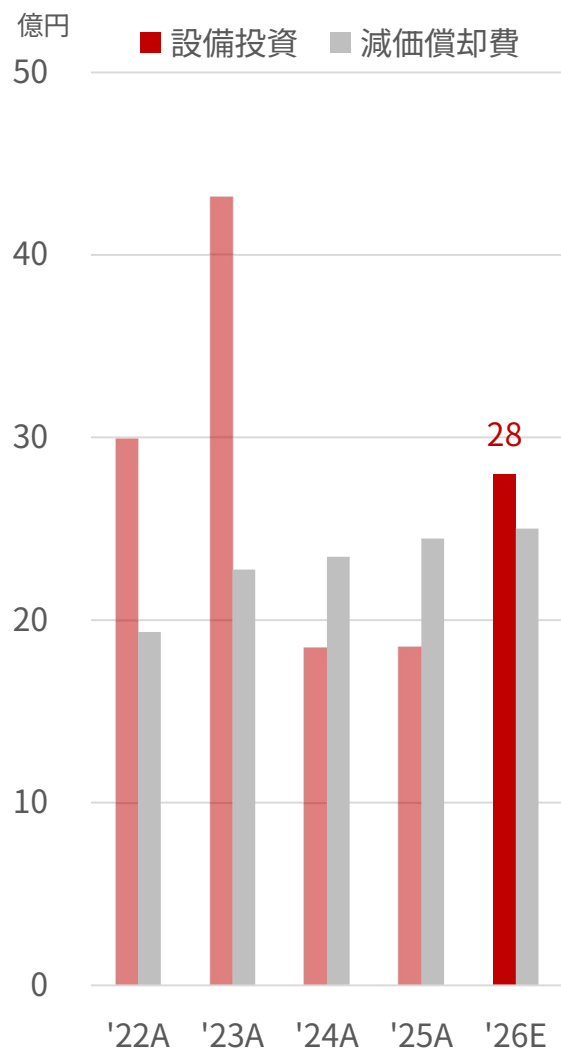
	2024 実績	2025 実績	2026 予想	前期比
売上高	1,117	1,166	1,155	-11
消防車輛	664	717	700	-17
防災	266	250	250	+0
産業機械	64	65	65	+0
環境車輛	123	135	140	+5
営業利益	137	155	145	-10
消防車輛	68	82	79	-3
防災	50	51	46	-5
産業機械	9	9	9	+0
環境車輛	10	13	11	-2
経常利益	137	150	150	-0
当期純利益	95	95	97	+2

前期比コメント

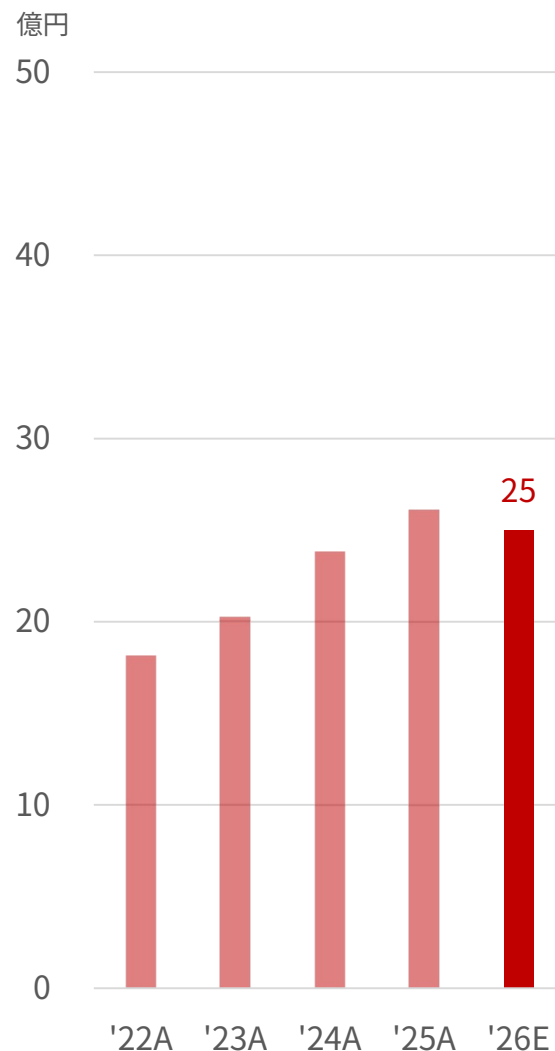
- ✓ 連結業績は、減収減益を見込むものの、売上高、営業利益とも過去2番目の高水準
- ✓ 消防車輛事業は、国内のシャシのモデルチェンジによる影響や、海外の一部案件の期ずれの可能性を織り込み、減収減益
- ✓ 防災事業は、売上高は高水準を維持するものの、コスト上昇を背景に、減益
- ✓ 産業機械事業は、製品の受注状況を踏まえ、増収増益
- ✓ 環境車輛事業は、過去最高の受注残高を背景に増収も、受注時点からのコスト上昇を踏まえ、減益

設備投資・研究開発費・配当金

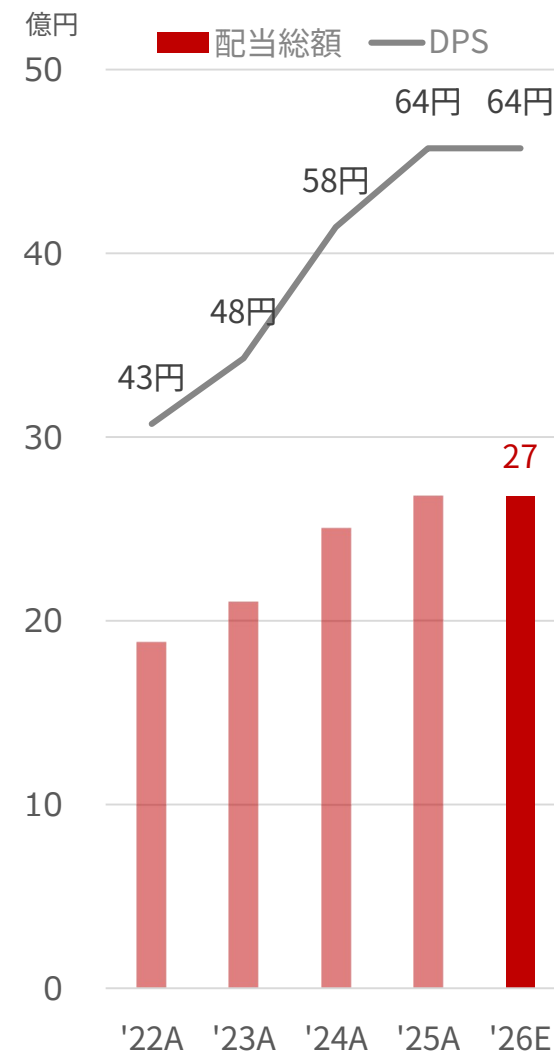
設備投資



研究開発費



配当総額/DPS





MORITA GROUP

Appendix

業績推移

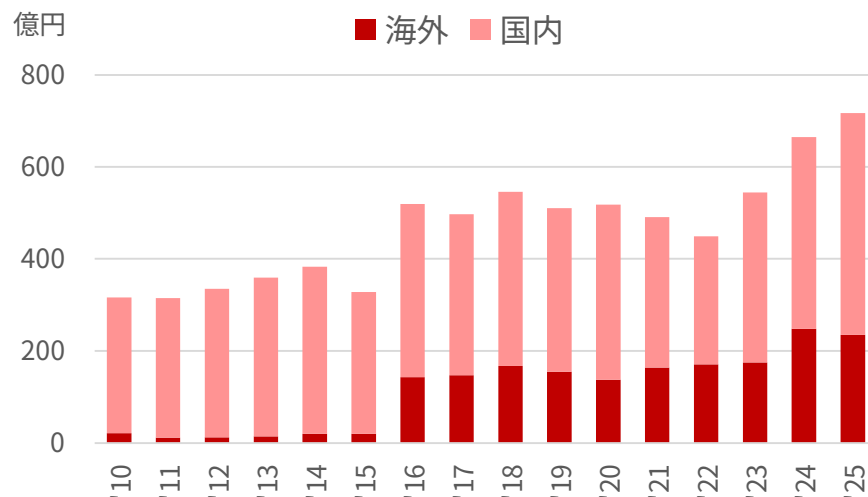
(億円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
売上高	597	637	671	717	719	686	851	855	915	869	847	836	813	952	1,117	1,166
消防車輛	316	314	335	359	383	328	520	498	546	510	518	491	449	544	664	717
防災	135	163	165	174	184	199	182	213	216	198	180	194	208	238	266	250
産業機械	33	43	54	60	55	60	44	41	47	54	40	52	59	62	64	65
環境車輛	80	83	90	97	97	99	105	103	106	108	109	99	98	109	123	135
自転車	33	33	28	26												
営業利益	43	51	63	67	82	75	96	85	95	89	89	81	51	95	137	155
消防車輛	37	33	39	44	57	42	72	55	63	57	66	55	18	47	68	82
防災	6	12	15	14	15	18	12	21	21	17	10	13	20	33	50	51
産業機械	-2	1	2	3	2	4	0	2	4	5	3	6	7	7	9	9
環境車輛	2	3	6	7	8	11	12	6	8	9	9	7	6	7	10	13
自転車	-1	2	0	-1												
経常利益	46	53	64	70	84	81	101	90	101	93	95	88	59	96	137	150
当期純利益	22	28	29	35	47	45	60	57	64	70	62	54	40	60	95	95

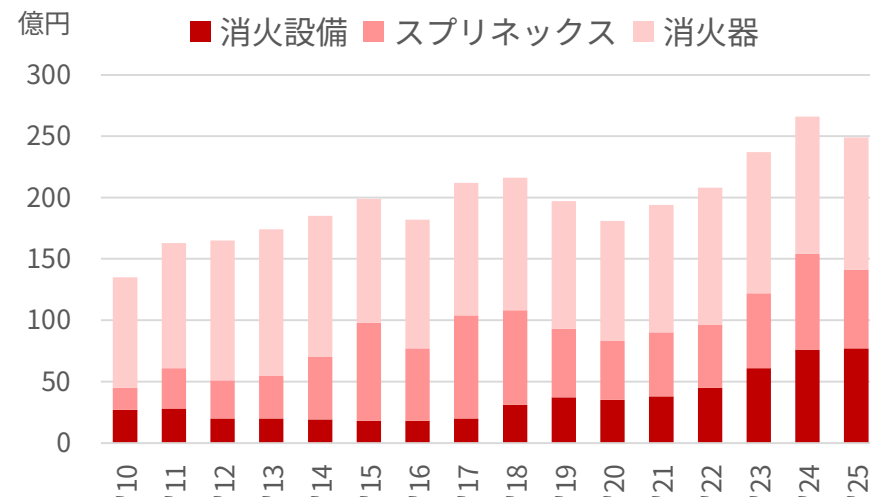
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
受注高	421	495	493	554	576	546	716	718	783	738	737	755	849	874	1,056	1,044
消防車輛	262	296	306	344	351	303	489	471	517	494	506	481	575	577	712	730
防災	41	54	50	55	65	88	67	101	100	91	79	89	97	116	132	109
産業機械	37	58	45	56	54	52	47	46	52	45	47	69	62	59	70	57
環境車輛	81	87	93	99	106	103	114	100	114	108	105	115	115	122	143	147
受注残高	88	115	94	97	87	194	198	221	228	221	237	295	477	570	677	716
消防車輛	43	50	37	43	23	125	117	118	116	116	124	140	291	359	442	482
防災	11	10	9	9	11	20	19	39	36	37	42	49	60	74	72	66
産業機械	23	38	29	25	24	16	20	24	29	21	28	45	48	46	52	44
環境車輛	11	16	19	20	29	33	42	39	47	48	44	60	78	91	111	124

セグメント別売上構成

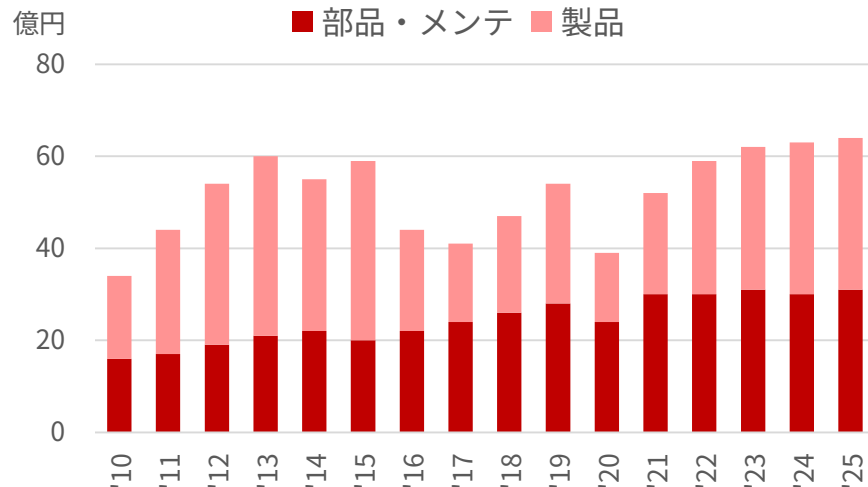
消防車両



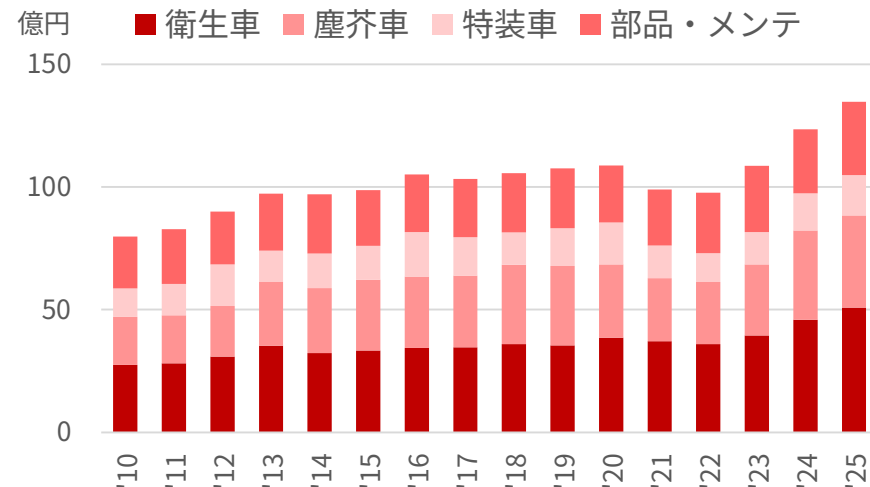
防災



産業機械

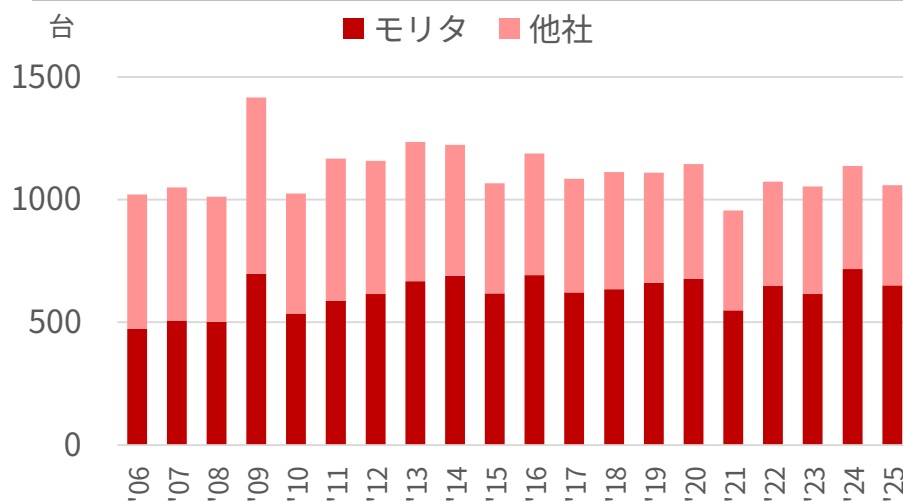


環境車両

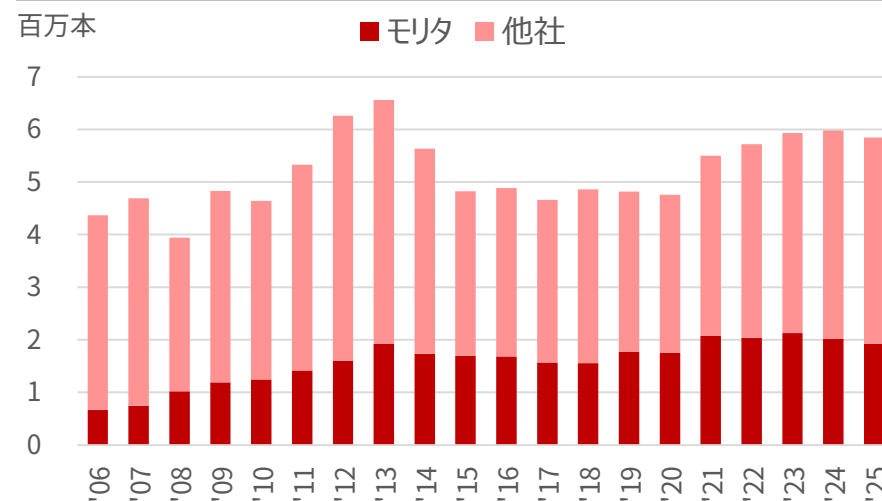


需要数量

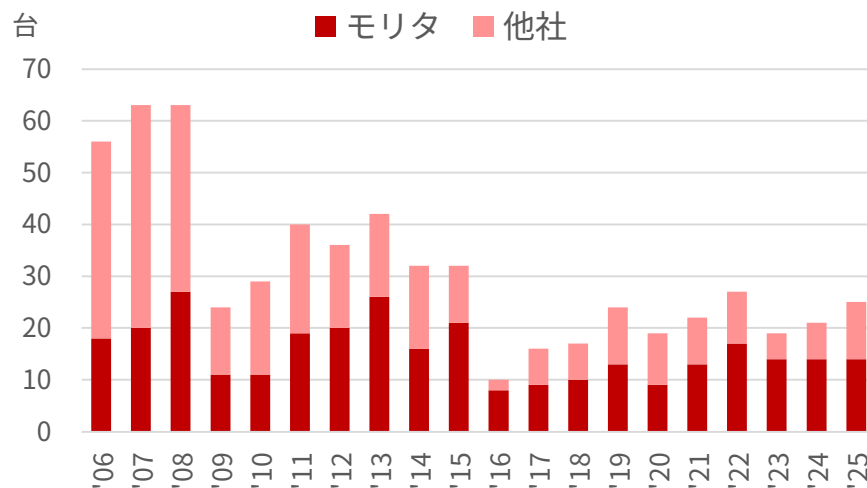
消防車



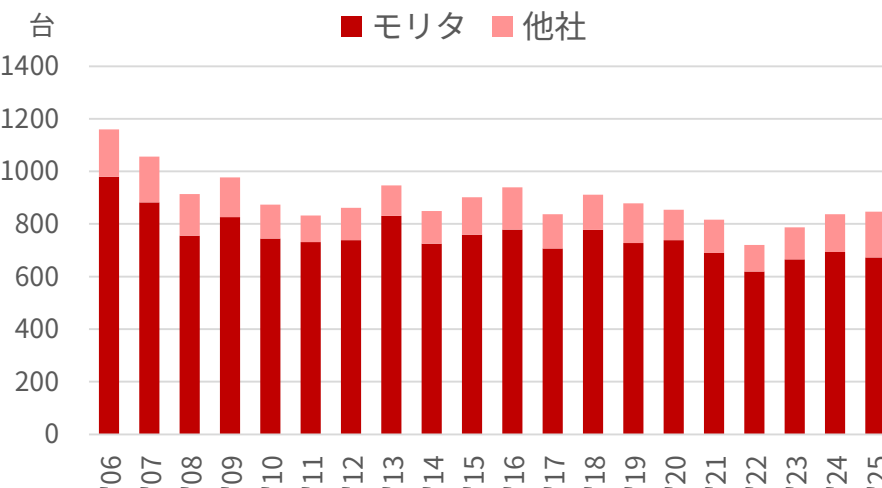
消火器



切断機



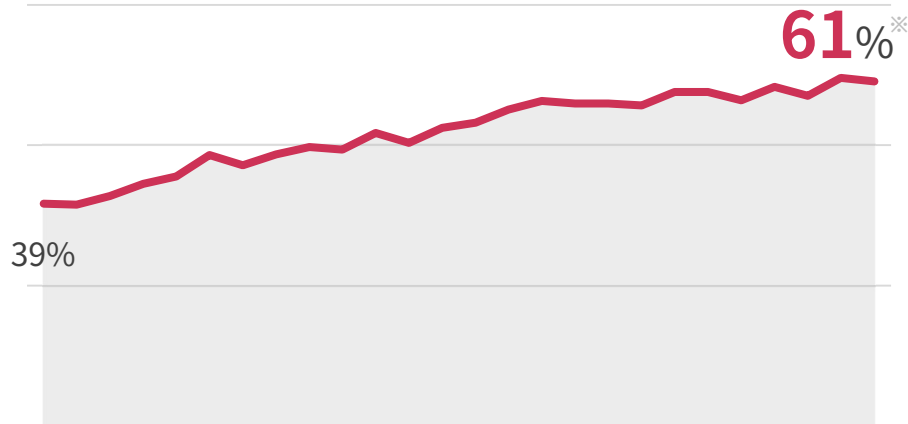
衛生車



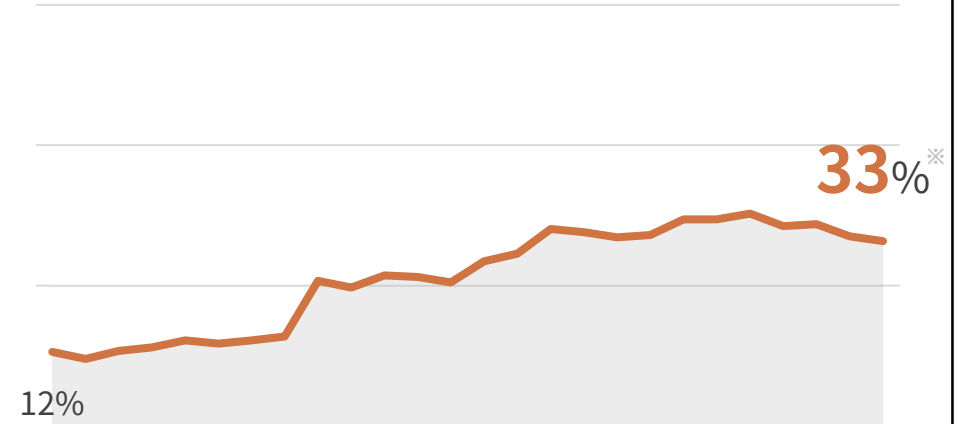
※ 自社調べ

マーケットシェア (2000-2025)

消防車両 (消防車)



防災 (消火器)



産業機械 (切断機)



環境車両 (衛生車)



※ 自社調べ

Bronto Skylift 概要



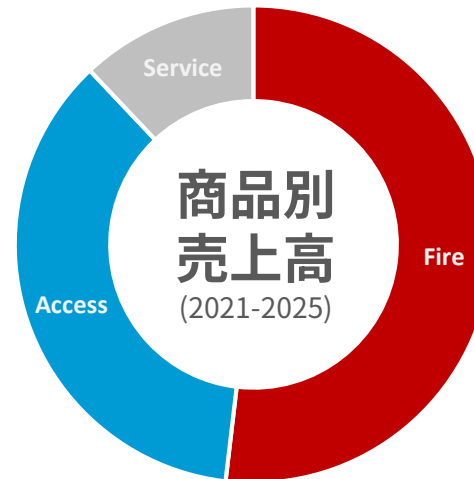
Fire & Rescue



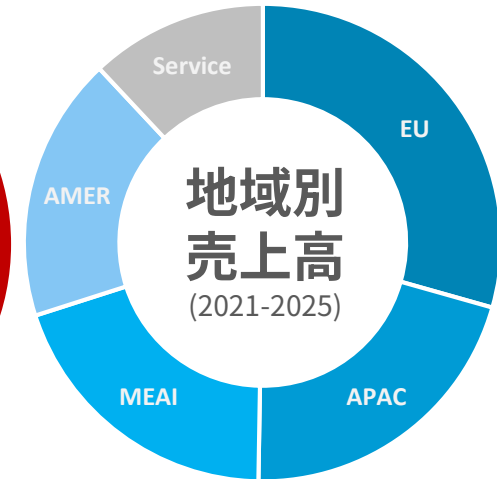
- 社 名 Bronto Skylift Oy Ab
- 所 在 地 Teerivuorenkatu 28, FI-33300 Tampere, Finland
- 設 立 1972年
- 従業員数 445名 (2025年12月31日現在)
- 子 会 社
 Bronto Skylift Aktiebolag (スウェーデン)
 Bronto Skylift AG (スイス)
 Bronto Skylift Deutschland GmbH (ドイツ)
 Bronto Skylift, Inc. (アメリカ)
- 事業内容 屈折はしご付消防車および高所作業車の開発・製造・販売



Access



Fire 屈折はしご付消防車
 Access 高所作業車
 Service サービス



EU 欧州
 APAC アジア太平洋
 MEAI 中東・アフリカ・インド
 AMER 米州
 Service サービス



Disclaimer

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測、主要市場の経済環境及び製品需給の変動等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。